

市立島田市民病院（静岡県）

病床数

536床

病院の特徴

地域基幹病院として、チーム医療を念頭に全科で高い質の医療・看護を目指しています。特に救急医療については、住民、行政、救命士との協力体制を作り上げ、迅速な救急医療を目指し、病院内に救急車・救命士常置、緊急時には若手医師が同乗するなど現場の救命活動に貢献しています。独立した救急センターは平成17年春からスタートし、内部にマルチCT、一般撮影装置を持ち、同一フロア内で診断、救急治療を可能としています。当院とNECで共同開発した電子カルテ「Mega Oak」がすでに稼働済みで、画像はフィルムレスです。都会にはない地域病院としての特徴は、壁のない各科の協力体制の下で豊富な疾患が経験でき、現場主義で鑑別診断能力、手術を含めた手技を身につけられることにあります。医師のスタートに選択する意義のある病院と自負しています。また、初期研修医専用の研修室があり、お互いの交流や切磋琢磨が可能です。※院内では研修医という呼称は使用せず、卒後1年目(2年目)医師と呼んでいます。

医師数

95名(2011年1月1日現在)

初期研修医定員 1年次

基幹型 7名(2010年実績)/たすきがけ 2名(2010年実績)

// 2年次

管理型 5名(2010年実績)/たすきがけ 1名(2010年実績)

処遇

身分：地方公務員(平成23年4月から)

給与：1年次・月334,000円、年4,400,000円 2年次・月406,000円、年5,600,000円

手当：図書費20万円/年、出張旅費20万円/年、BLS及びACLS受講費全額補助

宿日直手当等(35,000円/回ただし副直は10,000円/回)及び当直時の実労働時間外手当(副直時は除く)、剖検立合いの際は解剖手当を支給(4,000円/回)

保険：あり(静岡県市町村職員共済組合)、勤務医賠償責任保険(包括)

宿舎：あり

研修プログラムの特徴

①救急研修は期間限定ではなく、救急学会専門医の指導の下に内科系救急チームの一員として、更に外科救急を含み2年間継続して行う。ACLS取得をサポートし、その内容に沿った救急実技、蘇生手段、薬物使用を学べる。症候から入る診断や治療指針の系統的講義、実技を月1回行い、救急学会専門医の習得

が可能である。

- ②内科研修6ヶ月の間に、週各1回心エコー、腹部エコー研修を行い、救急で活用する。
- ③2年目選択研修時に、総合診療外来を研修する。
- ④総合診療科指導医が、各研修科の指導医とは別にローテート全期間をバックアップする。
- ⑤病理常勤医師の指導の下で病理研修ができる。(病理専門医認定施設)
- ⑥卒中科で内科外科両面から脳血管障害を研修できる。
- ⑦初期2年研修修了時点で、当院後期研修を優先的に選択できる。

指導医から学生さんへのメッセージ

思い出してください、医学部合格発表の日を。どのような医師になりたいと思い描いていましたか。困っている患者さんを救いたい、難治とされている病気を解明し治療法を見つけ出したい、ひたすら研究をしたいなど、さまざまな考えや理想をもって大学に入り、学んでこられましたね。

初期研修が義務化され、病院毎に研修プログラムが設定されて同じ内容を研修しますが、達成度や満足度は個人個人で差が生じます。その差はどこから生まれるのでしょうか。周りですぐにとけ込める人とそれが苦手な人、日々与えられたことを黙々とこなしている人、カンファレンスや学会で積極的に発言し、分からないことはその場で調べ、指導医にも質問しまくる人など、それぞれ個人差があるのは仕方がないことです。

大切なことは、「自分が何になりたいのか」を常に考え、節目に自己評価をしっかりと行うことです。今の自分には何が欠けているのか、それを補うにはどうしたらよいのかを考えて研修してください。私たち指導医には、いつでも相談してください。いきなり「こうなさい」という指導ではなく、どう考えるか、どうしたらよいのかを皆さんとの対話を通して、「自分の頭で考えることができる医師」に育つような研修を目標としています。

研修医は病院の宝です。指導医だけでなく看護師、放射線技師、臨床検査技師、理学療法士、薬剤師、栄養士まですべての人たちが指導を通じて緊張感を保ち、病院全体が活性化します。毎年研修プログラムを整備し、研修医の希望も考慮しながらカリキュラムを改善しつづけています。

研修スケジュール(年間)

○ 研修スケジュール (一例です。履修順序は研修医により異なります。)

1年次											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
内科						外科		脳卒中科	救急科	麻酔科	
← 救急科 →											
2年次											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
小児科		地域医療	選択必修科目			自由選択科目					
← 救急科 →			← 救急科 →								

- 地域医療研修(必須): 本川根診療所、上長尾診療所、高木医院、朝比奈診療所
静岡県立こころの医療センター、清水駿府病院、榛原総合病院
- 地域保健研修(選択): 介護老人保健施設アポロン、静岡県中部健康福祉センター
- 2年次選択必修科目: 内科系は血液・リウマチ科、腎臓内科、糖尿病・内分泌内科から2科目
外科系は整形外科、脳神経外科、泌尿器科から1科目を選択する